

オーディオ実験室収載

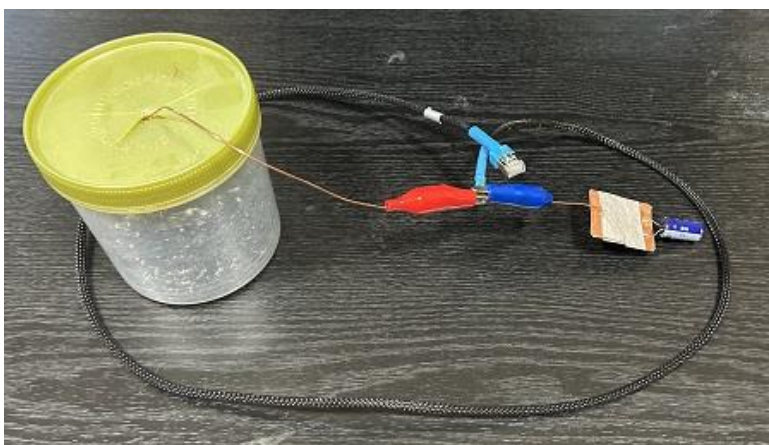
仮想アース Crystal EpL の導入(2)(HP 収載) ースイッチングハブへの適用ー

1. 始めに

前報(1)の計画に基づき、まずはスイッチングハブへの Crystal EpL の適用を実施します。

2. Crystal EpL の試聴計画

スイッチングハブには、光城精工のアースケーブル Clone2L 経由で自作の仮想アースを使用していますので、これを外して新しく入手した Crystal EpL に置き換えます。



試聴音源は、STAGE+から聴きなれた下記を選択します。

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番
マウリツィオ・ポリニー (ピアノ)
バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト
モンテヴェルディ合唱団
シューベルト ピアノ 5 重奏曲「鱒」
リサ・パティアシベリ他

3. Crystal EpL の試聴結果

最初に現行の自作の仮想アースの状態では聴いておき、次いで Crystal EpL に置き換えて聴き直します。

最新の STAGE+ の再生状態は、LAN アクキュライザーの導入(15)で報告のとおり、スイッチングハブから PC への LAN ケーブルに加えて、ルーターからスイッチングハブへの LAN ケーブルに LAN アクキュライザーを追加しています。

スイッチングハブの自作の仮想アースを Crystal EpL に置き換えますと、最初はあまり大きな変化はないような感じでしたが、次第に下記のようなことになりました。

ベートーヴェンのピアノソナタでは、ポリニーの弾く Fabbrini のスケールが一段と大きくなったようで、重量感のあるピアノが、ヘラクレスザールに響き渡るホールトーンがリアルです。

バッハのクリスマスオラトリオでは、冒頭のティンパニのホール内に響く間接音が豊かになり、合唱のホール内に響く残響も豊かになります。ソリストの歌唱のホール内に響く残響が豊かになるだけでなく、リアルさが向上しています。

シューベルトのピアノ 5 重奏曲「鱒」では、全体に演奏に勢いが感じられ、ピアノやチェロの響きが豊かになり、コントラバスの持続音とピチカートが量感が出てきます。

4. まとめ

スイッチングハブに Crystal EpL 適用する効果を認めました。これまでの自作の仮想アースもかなりの効果を発揮していたことも分かり、転用の方針も見えてきました。

以上